



### いちたつマルシェ

おかげさまで第10回を迎えることができ、過去最高の300名の方が来場してくれました。最初は『村民による村民のための居場所づくり』としてどのように組み立て、どのように進めていくか、ゼロからの作業でした。

東吉野村の拠点として、ひよしのさとマルシェで開催することを思い立ち、村民ひとりひとりの理解と協力を得ながら、またぬくもりメンバーのひとりひとりの熱い思いとスピード感溢れる行動力により、コロナ禍である令和2年11月からスタートしました。

第1回のいちたつマルシェは来場者約200名と大好評により、翌年からは4月、7月、11月と毎年3回開催することになり、回を重ねるごとに『いちたつ』が認知されてきました。

ぬくもりメンバーで毎回ひとつひとつアイデアを出し合って実行し、振り返りと反省を繰り返しながら、住民目線で丁寧に活動してきた結果が今回の第10回につながりました。



10時開店時の行列



来場者プレゼント ぬくもりセット  
(カイロ600個 入浴剤300個  
ウェットティッシュ600個)



手作りアクセサリー



着物リメイク展示

## こころやあい社協

第10回を記念として、今までいちたつを楽しみにしてくれている方や支えてくれた方に感謝の気持ちを込めて大抽選会を開催しました。

1等から30等の景品ではすき焼き用牛肉やリトルオープン・ブティットフィークのケーキ1個引換券等や今回特別に村長賞や議長賞を用意していただき、たくさんの方が足を運んでくださり、大行列ができた大抽選会となりました。

またコロナ禍の時から、土日開催してほしいという要望があり、今回は祝日開催にして、子ども向けのガチャガチャ抽選会を用意したところ、こちらもたくさんの方の家族連れにご来場いただきました。



ガチャガチャ抽選会



第10回記念大抽選会



第10回記念大抽選会の大行列



第10回記念大抽選会の内容



## 旧四郷小からこんにちは！奈良女子大学の活動報告

こんにちは！新年あけましておめでとうございます。  
奈良女子大学（社会連携センター）の特任助教を務めております大谷です。  
先月の活動報告と今後のイベント情報をお知らせいたします。

【「源流と水の講演・演奏会／地域の水と菌で育てる菌野菜の講話・地産地消のお食事会」を開催しました！】



「森と水の源流館」事務局長 尾上忠大さん

日本ではあたりまえにある水、ではその水はどこからどうやって来るの？その水の恩恵を受けている私たち。これからもこの先も次の世代に繋げていくために、尾上さんがされている活動などを交えながら、源流をありとあらゆる角度からお話しいただきました。



音楽家 松谷文美さん

山、森からなる源流や川のお話をご自身の体験も交えながらわかりやすくお話しいただき、美しい歌声にのせて届けていただきました。尾上さんとともに学校などに出向き、水のお話を伝える活動をされています。東吉野の子どもたちにもぜひ聞いてほしい内容、そして伸びやかな素晴らしい歌声でした。



ケータリング／出張料理 小嶋千恵さん

東吉野村の地産地消プレートを食べてみたい！東吉野村産で一体どこまで揃えられるのか？！ということをお願いしました。お野菜は午後の部で講話いただいた岡島さんのお野菜、お米は平野で作られたお米を、鹿肉は和歌山の源流扱いより調達していただきました。

この【地産地消プレート】はずっと、いつかやってみたいことでした。ひよしカレッジ四郷の活動の場を借りて実現することができ、それをまたたくさんの方々にご食べていただくことができ非常に嬉しかったです。



子どもたちに東吉野産の給食を食べてもらえたら、大きくなって東吉野のことを、五感を通じて覚えてもらえるのではないかと。一般の給食より、東吉野の目に見える距離にいる誰かが作ってくれていたら、村に対してその生産者さんに対して「ありがとう」の気持ちが残るのではないかと考えておりました。

これは、そもそも今、東吉野産の食材でどこまでできるのか？がわからないと始まらない話です。そのいい機会になり、なによりとても美味しかったことが、また私たちのこの日の記憶に残っていくと思います。



露地栽培／無農薬／無肥料／微生物（糸状菌主体）で野菜作り  
岡島信之さん

農業をするために移住してきた岡島さんは【菌ちゃん農法】というやり方で、野菜を育てています。自然にも人間にも良い【菌ちゃん農法】とはどんな農法なのか？岡島さんのお野菜のおいしさは、お昼の地産地消プレートで存分に味わっていただきましたので、午後はその農法とおいしい野菜の作り方についてお話しいただきました。

【菌ちゃん農法】とは？

生命循環という自然界の営みに沿って、有機物（死んだ生物体）を土に戻し、微生物（菌ちゃん）の力を活用して育てる方法。

有機物投入⇒微生物（小動物）が爆発的に増える⇒微生物代謝物質を野菜が吸収してより健康になる。⇒低分子化された有機物を、微生物を通して植物が直接吸収することでより健康になる。つまり、人の健康を高めるため、作物をより健康にして病害虫が来る必要のない作物を育てる技術。病害虫にも地球上の大切な

役割があります。病害虫を死滅させるのではなく、作物の周りにいるのに、病害虫にやられない野菜作りにつながってゆく。

「人の健康、自然環境を守るため、化学肥料や農薬を使わないで病害虫に立ち向かう技術」を用いた野菜作り、それが【菌ちゃん農法】なのです。

土壌や自然に負荷をかけず、みなさんの健康にもつながり、それに何よりおいしい！という理由から、今回の地産地消プレートは岡島さんのお野菜をたくさん使って作っていただきました。

村のすべての人に、いつまでも健康でいてほしいので、こうして身体に取り入れるものを考える機会を作れてよかったです。また、村の自然が生き生きとした状態で引き継がれていくことは、この村がいつまでも続いていくことや、そこで暮らす人々の幸せに直結していると思いますので、この会が自然と健康の両方につながる機会になったことを嬉しく思います。

ご協力いただいたみなさま、ご参加いただいたみなさまに厚く御礼申し上げます。

【「ひよしカレッジ四郷」今年最後の座談会を開催しました！】

図書館とこどものサポートの動きが活発に進んでおります。高齢者のサポートについては、「高齢者はサポートされるより、何かの役に立ち「ありがとう」と言われる方が元気が出るのでは。」というようなお意見もいただきました。



サポートではなく、高齢者の方々が楽しく活躍できるような場をつくるのがひよしカレッジの役割かもしれません。こうして議論があらゆる角度から活発になり、思いが少しずつですが形になっていきます。この日は奈良交通の方々も来てくださり、みなさんで校内を見学したりしました。

【座談会】次回は2月9日（金）9時30分～10時30分の予定です。どなたでもお気軽にご参加ください。

【みんなで掃除の日、次回は1月15日（月）にやります！】

「みんなで掃除の日」は隔月で活動しています。いつも掃除道具を手に、せっせと動きみなさんの姿に尊敬しかありません！みなさんいつもありがとうございます。今回は歴史資料室の掃除、または図書館スペースの準備を予定しています。

【みんなで掃除の日】次回は1月15日（月）10時～11時の予定です。ご参加お待ちしております！

【ピブリオバトル毎月開催中・先月はクリスマス会でした】

毎月好評のピブリオバトル（簡単に説明すると本を紹介し合うゲーム）です。先月は【冬休み特別版！ピブリオバトル&クリスマスプレゼント交換会】を開催しました。

いつもは平日の午前中に開催しているピブリオバトル。いつか子供たちにも来てほしいなと思っておりましたので、12月は冬休みに開催しました！

クリスマスプレゼントの交換をしたり、ピブリオ賞の方にはささやかなプレゼントもお贈りしました。子供たちにはいつもの図書室とは違う場所で、いろんな本や、村の人に触れてもらい、喜んでくれたのだと思います。

【ピブリオバトル】次回は1月29日（月）10時～11時の予定です。どなたでも、ご参加お待ちしております！

【奈良女子大学より1月のイベントのお知らせ】

■リカレント教育推進にかかるシンポジウム

「みんなで考えるリカレント教育～人が学び、会社が成長し、地域が良くなる～」

開催日時：令和6年1月25日（木）16：30～19：00

場所：ホテル日航奈良 飛天の間（奈良市三条本町8-1）

定員：100名（参加費無料）

申込：Googleフォーム（下記URL）より受付

<https://forms.gle/ecqJG8Dgo2pZwP4k8>

イベント詳細はこちらから↓

[https://www.nara-ni.ac.jp/nara\\_colleges/recurrent/news/2023/20240125/20240125.html](https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/recurrent/news/2023/20240125/20240125.html)



文藝

ひがしよしの



令和五年十一月二十八日青嶺俳句会から

水野露草 選評

特選の部

時雨るるや野づらに一基石舞台 池垣 昭美

十一月の句会は、蘇我馬子の墓と伝えられて

十一月の句会は、蘇我馬子の墓と伝えられて

十一月の句会は、蘇我馬子の墓と伝えられて

十一月の句会は、蘇我馬子の墓と伝えられて

十一月の句会は、蘇我馬子の墓と伝えられて

十一月の句会は、蘇我馬子の墓と伝えられて

十一月の句会は、蘇我馬子の墓と伝えられて

十一月の句会は、蘇我馬子の墓と伝えられて

十一月の句会は、蘇我馬子の墓と伝えられて

十一月の句会は、蘇我馬子の墓と伝えられて

十一月の句会は、蘇我馬子の墓と伝えられて

十一月の句会は、蘇我馬子の墓と伝えられて

十一月の句会は、蘇我馬子の墓と伝えられて

十一月の句会は、蘇我馬子の墓と伝えられて

佳作の部

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

飛鳥路の風に吹かれて小春かな

入選の部

岩肌の時雨のかかる石舞台

岩肌の時雨のかかる石舞台

岩肌の時雨のかかる石舞台

岩肌の時雨のかかる石舞台

岩肌の時雨のかかる石舞台

岩肌の時雨のかかる石舞台

岩肌の時雨のかかる石舞台

岩肌の時雨のかかる石舞台

岩肌の時雨のかかる石舞台

岩肌の時雨のかかる石舞台

岩肌の時雨のかかる石舞台

岩肌の時雨のかかる石舞台

陽の落ちて鳶の一鳴暮早し

乾きゆく吊るし柿揺る軒下に

犬と遊べる小さき幸せ

霜月の闇を恐れつ見上げたる

木星大きく天空にある

霜夜はそつと毛布掛けやる

はるばると旅をして来た米ミカン

ひとつひとつに明かり灯して

明日から立冬ゆうにベゴニアは

小さき花に笑浮かべおり

子の母校ひよしカレッジ四郷となり

地域活性化の起点へと

スゴイ！来たかいあった友人宅

建物覆うイルミネーション

願うのは年越しそばを食べながら

戦争のない世界の平和

法事すみそつと渡してくれたのは

赤いソテツの絵手紙でした

一枚のハガキでさえも千里ゆく

君は宇宙の旅をゆく

一般投句(川柳)

秋吉 雅子

浦田由美子

浦田由美子

浦田由美子

浦田由美子

浦田由美子

福井メイ子

福井メイ子

福井メイ子

由美子

由美子

由美子

由美子

元林マスマ

元林マスマ

元林マスマ

元林マスマ

植平 佳伸

植平 佳伸

植平 佳伸

植平 佳伸

# 地域おこし

## 協力隊の日々

東吉野村で自分の道を歩む

ダグラス・ディアス



東吉野村の

みなさん、は

じめまして。私はダグラス・ディアスです。アメリカ合衆国ニューヨーク市の出身の画家です。十年ほど画家としておりまして、愛、喪失、感情など内面に関することをテーマに抽象的な作品を描いています。これまでの作品は、日本やタイ、インドネシア、オーストラリア、アメリカ、シンガポールなど、様々な国で展示されています。

画家になる以前は、東京の企業と国際的なプロジェクトに協力するコンサルティング

会社を経営していました。加えて、ニューヨークの企業でクリエイティブディレクターも務めていました。また、パース・デザイン学校、コロンビア大学などで建築、デザイン、理論の助教授も十年以上務めておりました。

そんな私が画家の道を歩むきっかけとなったのは、二〇一四年に訪れた東吉野村での出会いでした。村内におられる芸術家の方と出会い、それまでの仕事ではなく本来の自分が目指すべき道は画家なのだという事に気づかされたのです。

その後、二〇一五年から二〇一七年までの間は、その方の家で暮らしていました。

しばらく村を離れ海外におりましたが、今年の秋に再び戻ってまいりました。

現在は、村内にある古い茶工場を工房やギャラリー、コミュニティスペースなどに活用する為、改装作業をしております。将来的には、そこで暮らしたいと思っています。

今までバンコク、バリ、ハワイ、カラカス、ブルックリン、ストックホルムなど、さまざまな地域で暮らしてきました

が、その中でも東吉野村は特別な場所です。これからもこの村で暮らしていきますので、どうぞよろしく願います。



今年11月茶工場での「オープンアトリエ」の様子